

【資料10】



介護現場の生産性向上と介護ロボット等 の導入支援について

令和5年3月

兵庫県福祉部高齢政策課

目次

I 取組の概要（補助・研修等）

II これまでの補助実績等

III 令和5年度以降の取組

兵庫県における介護ロボット等導入の推進

- 兵庫県では、介護ロボット・ICTの導入の推進に向け、機器を導入のための支援、活用のための支援の両面から、以下の2事業を実施

補助金
(導入支援)

介護業務における労働環境改善・生産性向上支援事業

- ・介護ロボット、ICT導入補助

連携

補助事業で導入する介護ロボット機器の有効活用を目的として、介護事業者の知識・操作技術習得を図る研修事業を兵庫県独自に実施

研修
(活用支援)

介護ロボット等導入支援研修実施事業

- ・介護ロボット導入支援研修

+ **介護ロボット導入時伴走型フォローアップ支援事業**
(コンサル補助を活用)

補助事業① ～介護ロボット等の導入支援～

(1) 介護業務における労働環境改善支援事業 (■ : 令和5年度まで)

令和4年度から介護ロボット導入支援研修(基礎編)の受講を当該導入補助事業の申請要件として設定

①介護ロボット

事業内容	移乗リフト、見守りセンサー、コミュニケーションロボット、排泄支援ロボット等介護ロボットの導入経費の補助
補助対象事業所	介護保険法の指定を受けた介護サービス事業所・施設
補助率	1/2 (一定を要件を満たす場合は3/4)
補助上限額	1,000千円/台 (移乗介助、入浴支援)、300千円/台 (左記以外)

②見守りセンサー導入に伴う通信環境整備

事業内容	Wi-Fi整備工事、インカム導入経費、介護ロボットと介護記録ソフト等とのシステム連動にかかる経費等の補助
補助対象事業所	介護保険施設、特定施設入居者生活介護
補助率	1/2 (一定の要件を満たす場合は3/4)
補助上限額	7,500千円/施設

補助事業② ～ICT機器等の導入支援～

(2) 在宅介護事業所・介護保険施設における業務効率化支援事業

事業内容	ICT機器等を活用して介護記録から請求業務までを一気通貫で行うことができるシステム（介護記録用スマホ・タブレット、介護記録ソフト等）の導入経費の補助
補助対象事業所	訪問系サービス、入所系サービス
補助率	1/2（一定を要件を満たす場合は3/4）
補助上限額	（職員数に応じて異なる） ・ 1～10人 1,000千円 ・ 11～20人 1,600千円 ・ 21～30人 2,000千円 ・ 31人以上 2,600千円

※令和5年度より補助対象事業所に通所系サービスを追加

補助事業③ ～業務改善のコンサル経費の支援～

(3) 介護業務における生産性向上支援（業務改善支援）事業

事業内容	業務改善のための課題抽出作業から改善方針の検討、改善活動の評価といった一連のコンサルティング業務を委託するための費用を支援
補助対象事業所	介護保険施設
補助対象経費	コンサルティング業務にかかる委託契約料
補助率	1/2
補助上限額	300千円/施設

➡ 県立福祉のまちづくり研究所と協同して介護ロボットを導入する際に伴走型フォローを受けられる事業を、この補助事業を活用して実施

研修等事業① ～動画研修による機器選定の支援～

(1) 介護ロボット導入支援研修（基礎編）

①目的

機器選定の段階から、介護ロボットが必要とされる背景や機器の種類等について理解を深め、現場に合った適切な機器選定ができるよう必要な基礎的知識の習得を目指すもの

②内容

行政説明	兵庫県高齢政策課
	福祉のまちづくり研究所
専門家講義	NTTデータ経営研究所
メーカー解説	見守り支援、移乗支援、排泄支援の3分野での各メーカーのプレゼン動画

研修等事業② ～実技研修による機器活用の支援～

(2) 介護ロボット導入支援研修（応用編）

①目的

介護ロボット補助金での導入予定機器を実際に使用し、機器導入前に、操作方法や活用法について理解することで、機器導入後の円滑な機器運用を支援するもの

②内容

講義	PDCA サイクルを用いた介護ロボットの現場での運用について
実技	①機器説明（製品特徴、運用場面シュミレーション）
	②実機操作練習（ロールプレイ）等

研修等事業③ ～実技研修による機器活用の支援～

(3) 介護ロボット導入時伴走型フォローアップ支援事業

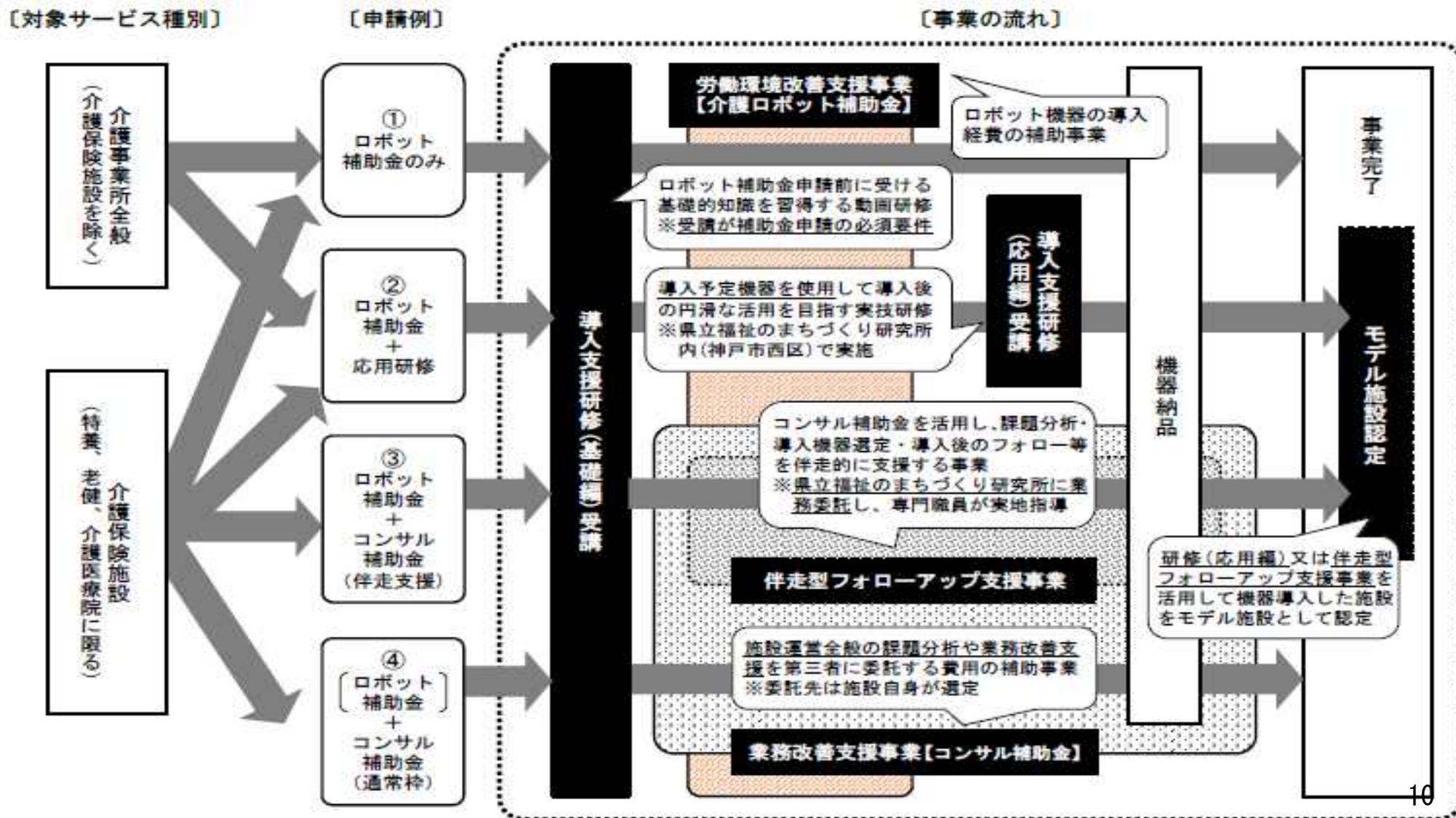
①目的

介護現場が抱える生産性向上に関する課題について、介護ロボット導入や活用に関する観点から、福祉のまちづくり研究所職員による課題分析、各種支援を行うことで、適切な機器選定、導入機器を活用した介護業務全般の業務改善による生産性向上を目指すもの。

②内容

講義	PDCA サイクルを用いた介護ロボットの現場での運用について
ワークショップ	①施設の課題抽出と解決方法の提案
	②実行計画の策定
	③改善活動の取組み支援、研修等の職員教育支援
	④改善計画の振り返りと計画の見直し

介護ロボット導入支援に関する補助・研修等事業 体系図



目次

I 取組の概要（補助・研修等）

II これまでの補助実績等

III 令和5年度以降の取組

介護ロボットの補助実績

(1) 介護ロボットの補助事業所数

※ 兵庫県の労働環境改善支援事業の補助を受けた事業所数 (R4は見込数)

分野	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
移乗介助	9	7	12	21	38	33	37	157
移動支援	-	-	0	4	2	9	2	17
排泄支援	1	0	0	1	3	2	2	9
見守り・コミュニケーション	-	-	8	59	61	131	147	406
入浴支援	1	1	2	5	6	7	10	32
介護業務支援	-	-	1	10	1	3	0	15
計	11 (10)	8 (8)	23 (23)	100 (90)	111 (100)	185 (177)	198 (177)	636 (585)

➡ R3の補助率引上げ (1/2→3/4) 等の制度拡充を受け、見守り機器の導入台数が一気に増加

※ 1事業所につき複数分野で補助を受けた場合、重複計上したため合計値は延べ数。 () 内に施設数の実数を記載。

介護ロボットの導入に関する課題

【設問】 介護ロボットの導入や利用についてどのような課題・問題があると考えるか（複数回答）

区分	施設系 (入所型)	施設系 (通所型)	訪問系	計
導入コストが高い	77.3	65.7	50.9	60.5
投資に見合うだけの効果がない	29.6	51.2	38.7	40.0
誤作動の不安がある	37.4	37.3	32.6	34.5
ケアに介護ロボットを活用することに違和感を覚える	24.1	29.4	23.2	25.1
技術的に使いこなせるか心配である	42.8	33.8	30.2	33.6
介護現場の実態に合う、現場の役に立つ介護ロボットがない	19.9	22.7	21.7	20.5
課題・問題は特にない	2.4	5.5	7.7	1.5

課題

- ・ 高い導入コストに見合うだけの効果がない
- ・ 機器の使用法、現場に合った機器の選び方が分からない



介護ロボットの導入前後に、機器選定や活用法についてフォローが必要

出典：令和2年度介護労働実態調査結果（公益財団法人介護労働安定センター）より抜粋

※対象となるサービスを抜粋しているため、記載のあるサービスの合計は一致しない

介護ロボット導入施設への調査結果

【設問】 介護ロボットの導入後の介護業務での身体的負担・要する時間はどう変化したか

【設問】 導入後の介護業務に要する時間	【説問】 導入後の介護業務を行う上での身体的負担						
	区分	負担を感じない	負担が軽減	負担が少し軽減	負担軽減なし (以前同様の負担感)	負担が以前より増加	計
	短縮	0%	19%	2%	0%	0%	21%
	やや短縮	1%	8%	22%	2%	0%	31%
	どちらともいえない	6%	3%	9%	5%	3%	26%
	新たな手間の増加 で短縮効果なし	0%	0%	6%	5%	2%	13%
	以前より 明らかに増加	0%	0%	2%	2%	4%	8%
	計	7%	30%	42%	13%	8%	100%

出典：兵庫県の補助事業を活用して導入した施設の介護ロボット使用職員に対する事後評価調査結果（令和2年度以前）

兵庫県の介護ロボット導入支援の推移

区分	H28～	H30	R1	R2	R3	R4
対象	特養・老健	⇒	介護保険施設 事業所	⇒	⇒	⇒
対象機器	自動排泄処理 ロボットスーツ 移動リフト	移乗支援 移動支援 入浴支援 排泄支援 見守り・コミュニケーション支援 介護業務支援	⇒	⇒	⇒	⇒
補助率	1/3	⇒	1/2	⇒	3/4 1/2	⇒
補助上限	10万円/台	⇒	30万円/台	30万円/台 100万円/台	⇒	⇒
上限台数	常時雇用100人以上 ：3台 常時雇用100人未満 ：2台	⇒	施設・居住系 定員の10% 在宅系 定員の5%	なし	⇒	⇒
導入支援				コンサル補助	コンサル補助 導入支援研修	コンサル補助 導入支援研修 実機活用研修 伴走型フォロー

※ 赤字が拡充部分

目次

I 取組の概要（補助・研修等）

II これまでの補助実績等

III 令和5年度取組

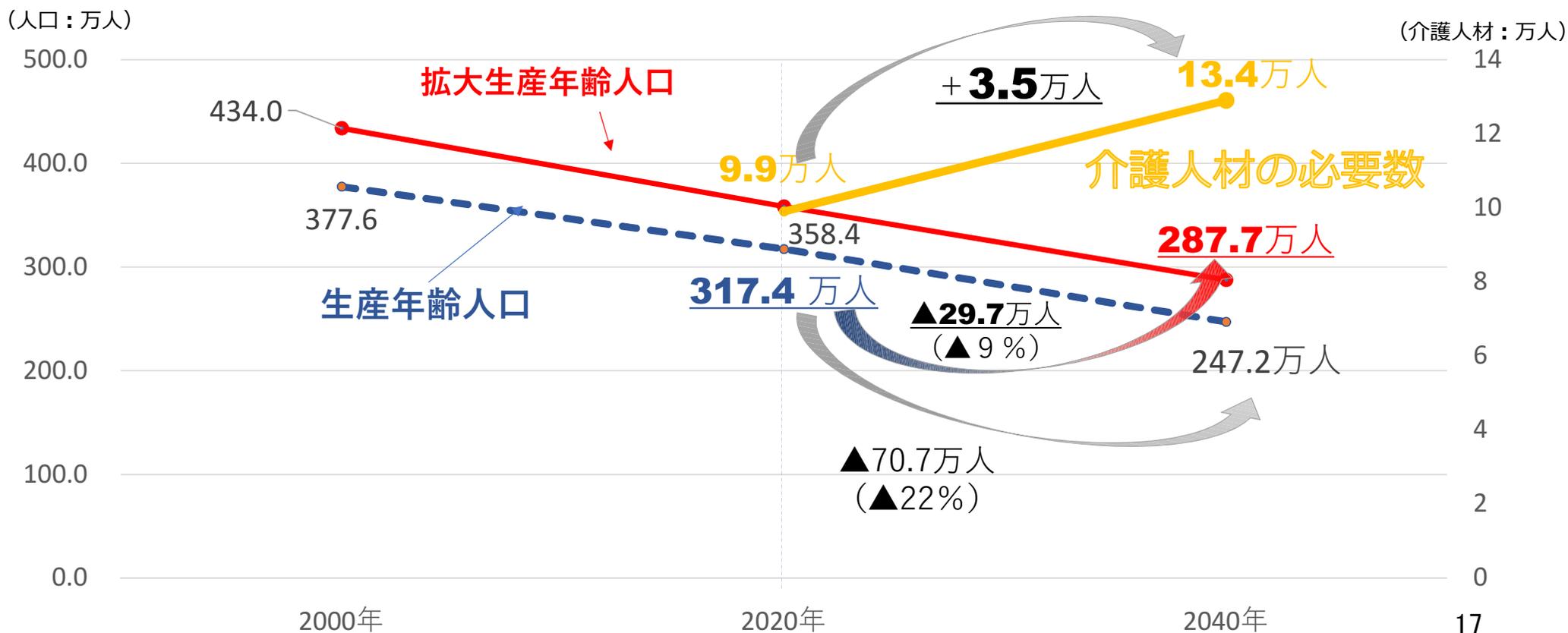
兵庫県における生産年齢人口と介護人材の必要数の推計

○ 2040年に向けて介護需要は増加する一方、支え手は大きく減少

(2020 : 生産年齢人口 (15-64歳))
約**317.4万人**

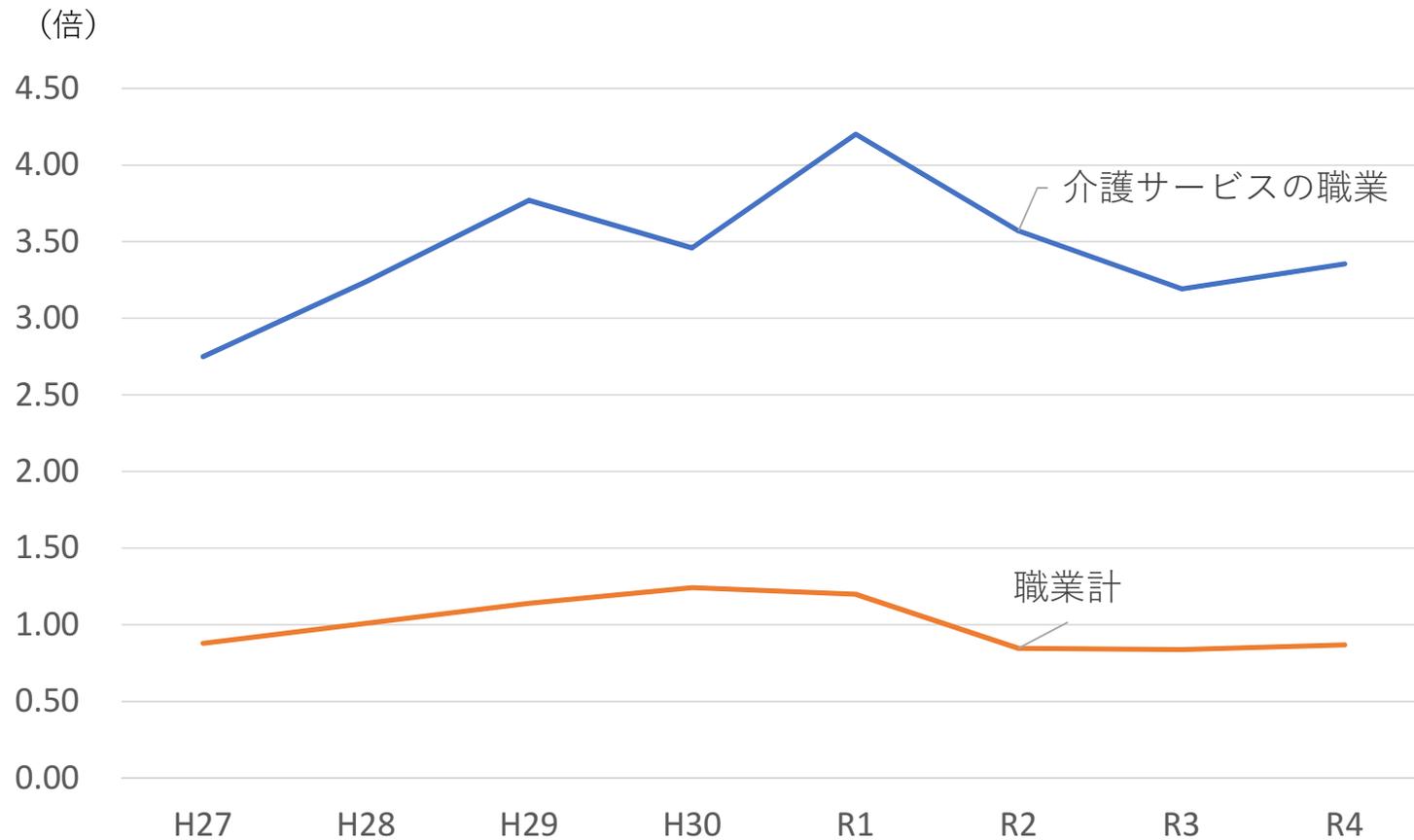


(2040 : **拡大**生産年齢人口 (15-**74歳**))
約**287.7万人**



有効求人倍率の推移

○介護サービスに係る有効求人倍率は、他産業に比べ高止まりの傾向が続いている。

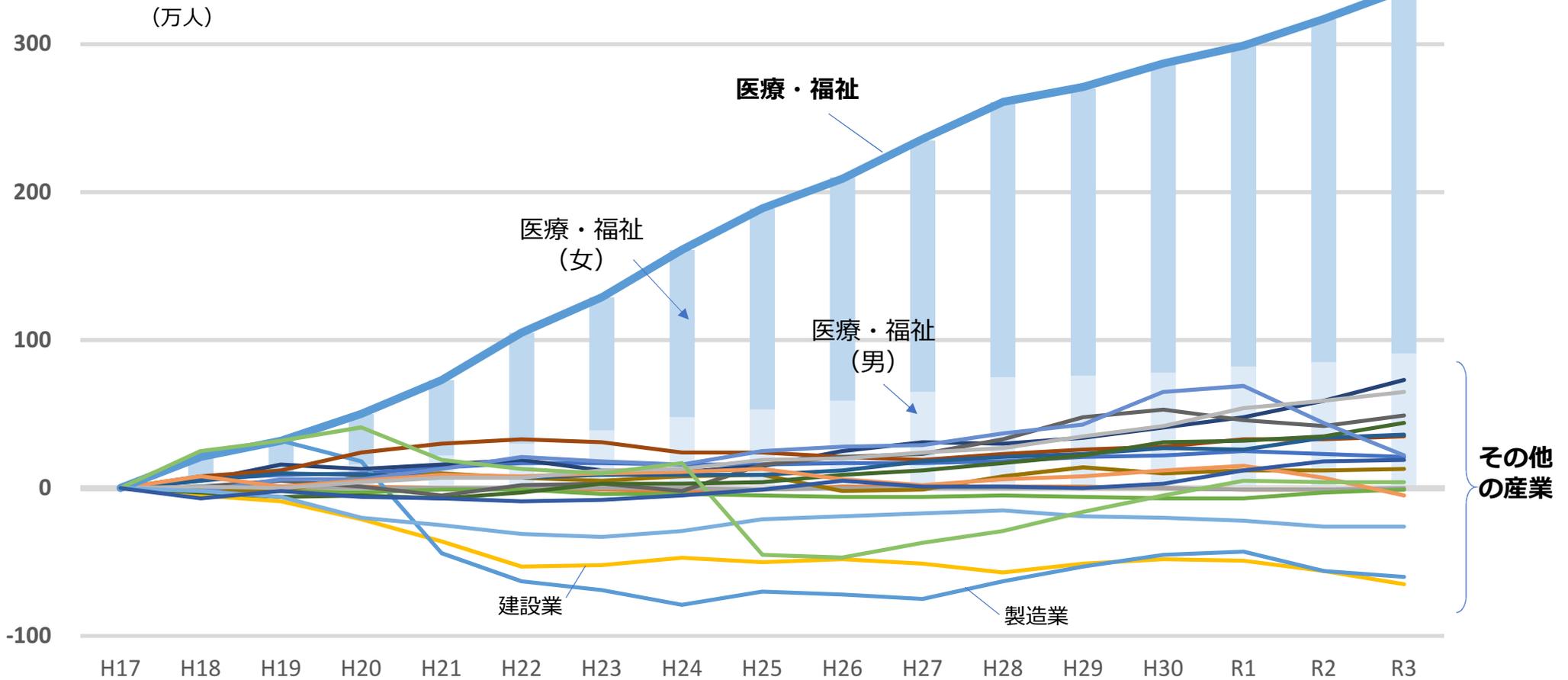


職業別職業紹介状況(常用計) 厚生労働省兵庫労働局資料を基に作成

医療・福祉の就業者数の推移

(産業別雇用者数の推移 (H17年を基準年とした増減))

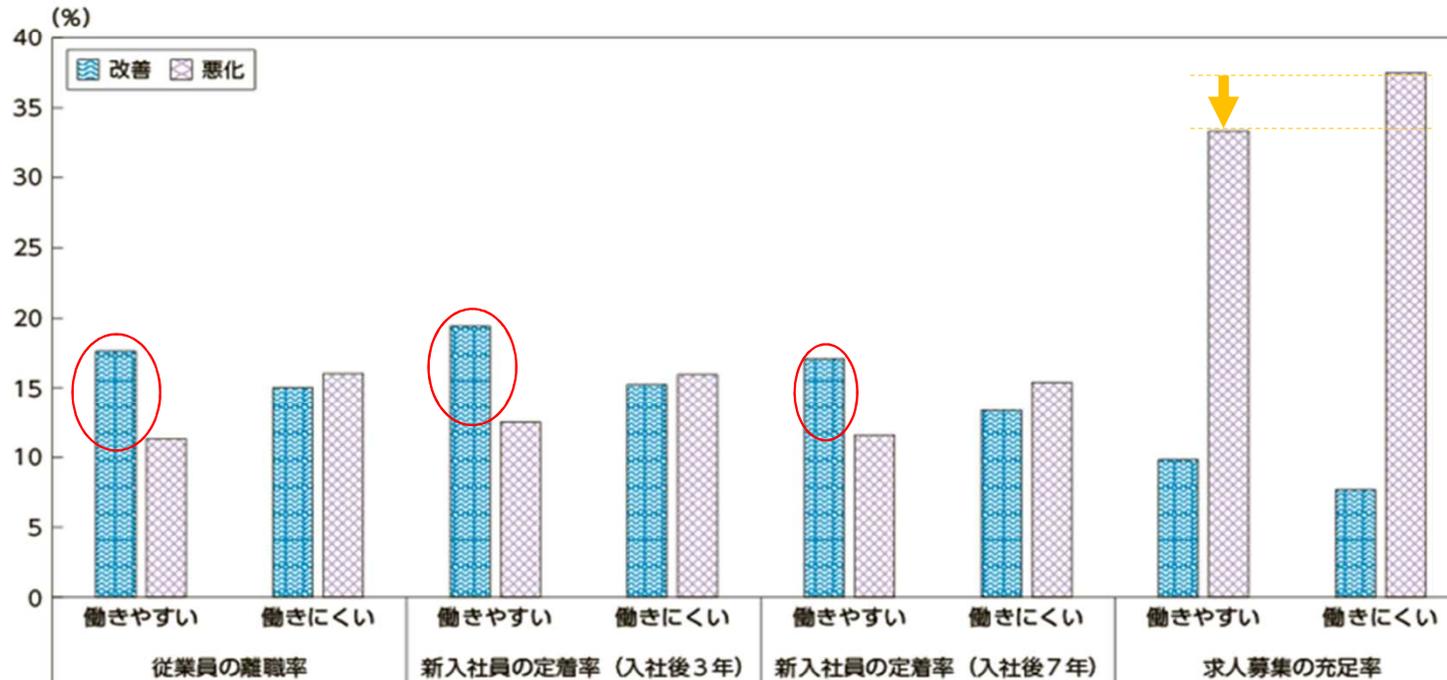
○医療・介護の就業者数は、一貫して増加しており15年間で約300万人増加している。



第2-(2)-18図 働きやすさ別にみた離職率等の変化について

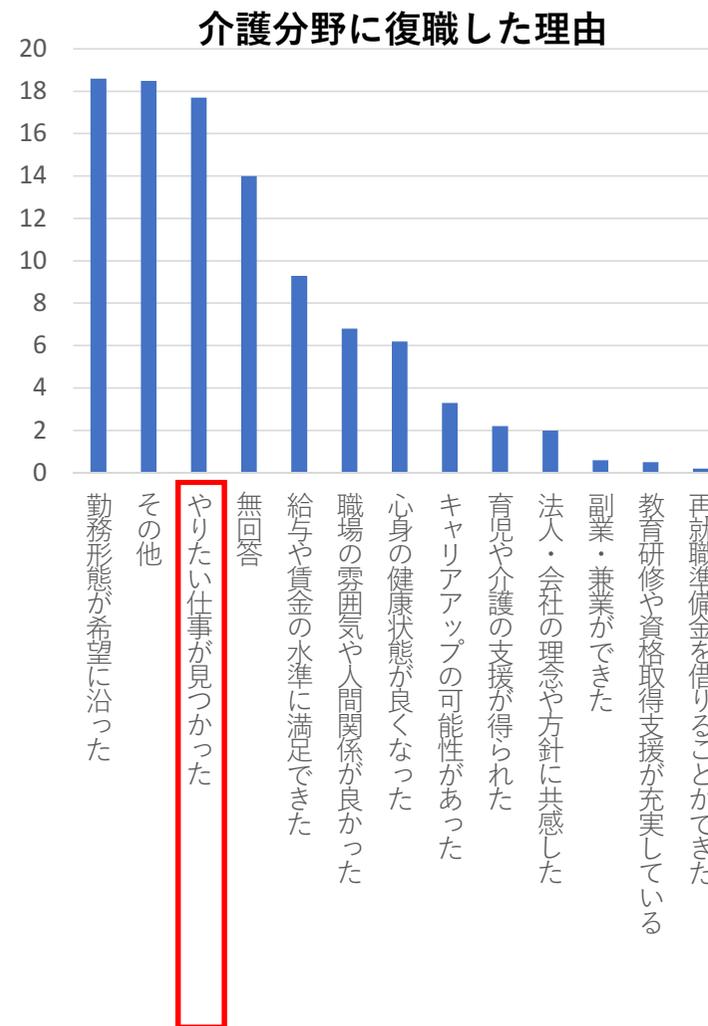
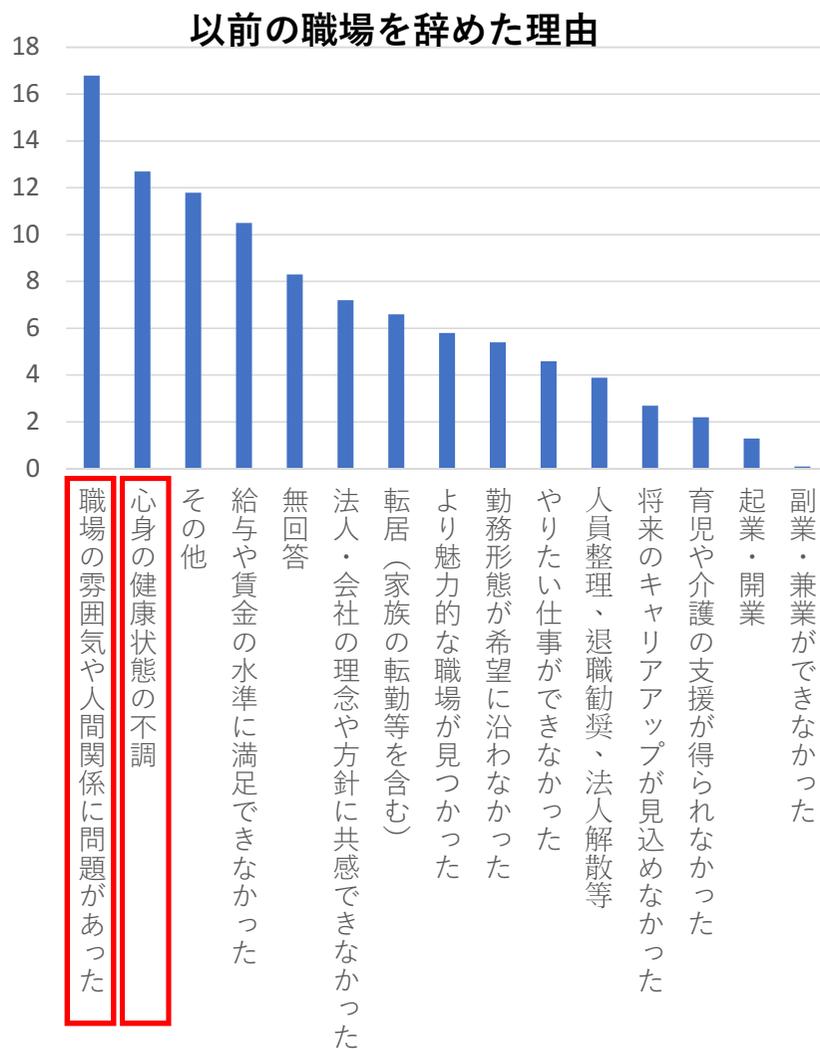
- 働きやすいと感じている者の所属企業は、働きにくいと感じている者の所属企業に比べて、従業員の離職率は悪化が抑えられており、新入社員の定着率は改善している。
- 求人募集の充足率は、人手不足の影響もあり、働きやすいと感じている者の所属企業でも働きにくいと感じている者の所属企業でも悪化している企業が多いが、働きやすいと感じている者の所属企業の方が充足率の悪化が抑えられている。

働きやすさ別にみた離職率、定着率及び充足率の変化



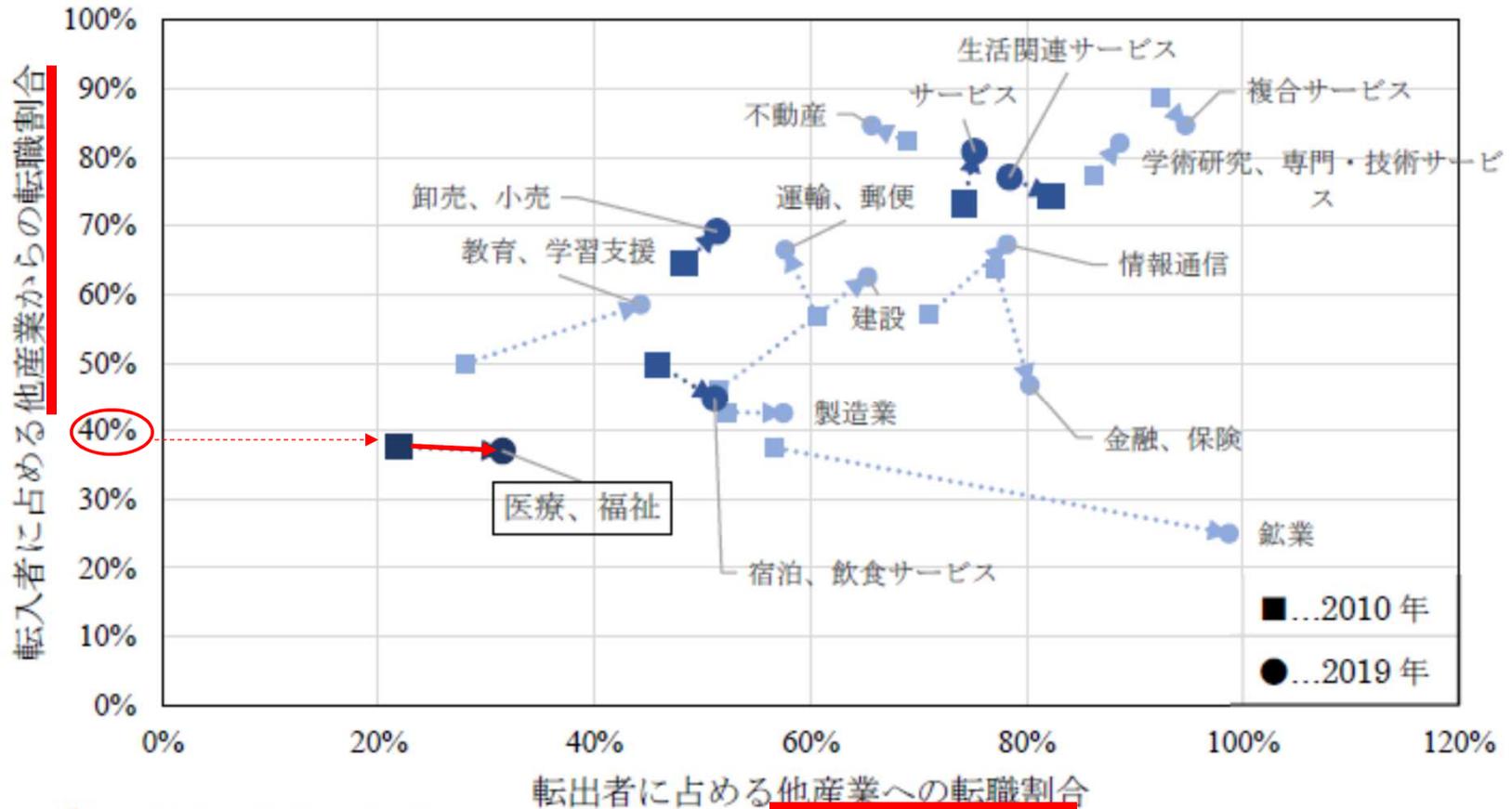
資料出所 (独) 労働政策研究・研修機構「人手不足等をめぐる現状と働き方等に関する調査」(2019年)の個票を厚生労働省政策統括室にて独自集計

以前の職場を辞めた理由・復職した理由 (介護福祉士・主な理由)



入職者の職歴別構成（2019年）

- 医療・福祉の業種は、業種内での労働移動が他の対人サービス業より多い。



(新) 介護ロボット導入・生産性向上の総合的な推進 (2,800万円)

○介護ロボット導入など介護現場の生産性向上に関する相談等に対応する「**介護生産性向上総合相談センター** (仮称)」を設置し、既存事業にも生産性向上の視点を加え、**介護の質の向上**や**働きたい職場づくり**を推進

